

20th
Anniversary

B!-CO
Build-communication

創業20周年記念号

Tokai-Build



猛暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで平成28年7月をもちまして、当社は設立20周年を迎えました。まず、お客さまなど関係各位の皆様、そして今日まで当社の施工品質を支えていただいている協力会社の皆さまに心より感謝を申し上げます。

さらに、お客さまのおかげで「うちの商品は、社員のスキルです」と説明できるまでに成長した設計・工事部門の担当者、営業・総務担当者にも感謝したいと思います。

ハウスメーカーの画一的な商品化に疑問を持ち、サラリーマン時代の仲間3人と今の会社を設立した当時、資金はもちろん、事務所らしいものすらありませんでした。それまでお付き合いのあったお客様に対し、「われわれの財産は『まじめ』です」と、志しを示すしかなかった当時のことを思い出します。

建築とは、施主の夢です。それを実現するため、予算や立地条件などの制約の中で、徹底的に知恵を出し合うことがわれわれの務めです。知恵を出せば良い現場になり、スキルという財産を得ることができます。

施主、東海・ビルド、協力業者が三位一体になって皆が「良い建物を創る」という統一目標を持ち、努力することで笑顔・幸せがあふれる建築が可能になります。

「品位・風格ある建築」を実現する、顧客と信頼関係を深める「品性・人格を備えた集団」として、これからもお客様と地域の発展のために頑張る所存でございます。今後とも、ご支援とご指導を賜りますことをお願い申し上げますとともに、皆さまの更なるご発展を祈念いたします。

株式会社 東海・ビルド 代表取締役 大上 功



人間
十萬思う人は千円を思わず
一千万思う人は一万を思わず
五円を心に誠の御縁に感謝すべし

社訓
私達の財産はまじめです。
社訓
徳のある人間になり
徳のある会社をつくれます。
「徳」を得る為の3つの心
1. 人との約束を必ず守る心
2. 人に優しい心
3. 常に自分に厳しい心
株式会社 東海・ビルド



社長室の壁に掲げる3つの「思い」

上) 社は社訓は会社のみならず現場事務所にも必ず掲げている東海・ビルドの「思い」

左) 今号のビルドコミュニケーションに掲載させて頂いていた、リビングセンターまるなが・坂野社長から頂いた「思い」

右) 当社設立最初の作品、マンション『ブルックストリーム』の完成予想図に描かれた「思い」

工事部

TEAM-C CONSTRUCTION

『品格ある技術力を追及し続ける会社』

[コンクリート打放し]をそのシンボルとして、
設計図より良い物を創り出すことを目指します。



東海・ビルド
TEAM-C.O.A

営業部

TEAM-O OPERATING

『品格ある技術力を追及し続ける会社』

[感謝の気持ち]を常に持ち続け、
お客様と一体となって夢の実現を目指します。



設計部

TEAM-A ARCHITECTS

『品格ある技術力を追及し続ける会社』

【一人一人が設計事務所長】の心意気を胸に、
個性的な建築家集団を目指します。



東海・ビルド
20年の歩み

まじめであり続けたい・・・
その志を貫き、お客様の【夢の実現】に全力を捧げて歩んできた20年。
まだまだ立ち止まらない、ビルドの挑戦は終わらない。

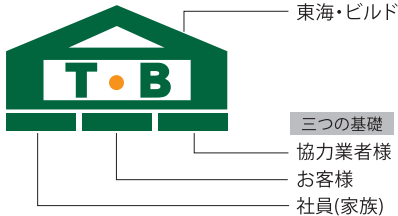
平成8年7月

平成11年9月

株式会社 東海・ビルド 設立

「私たちの財産はまじめです」これは社員全員の心にいつも存在し続ける大きな、そしてとても大切な私達の心構えです。
この社是から会社は始まりました。
設立当時、当たり前ですが竣工物件もなく、「こんな建物を建築します」とは言うものの説得力がない・・・そんな状況でした。
しかし、この社是を理解して頂ける人に出会うことができたおかげで、会社は産声をあげることができたのです。

社員(家族)、お客様、協力業者の皆様に支えられているという思いを込めた、弊社のロゴマーク



社是 私たちの財産はまじめです。

社訓 『徳』のある人間になり
『徳』のある会社をつくります。
『徳』の得る3つの心 — 1.人との約束を必ず守る心
2.人に優しい心
3.常に自分に厳しい心



新社屋完成 本社移転

今でも時々会議に話が出てきたり、新しい社員にも移転前の会社の様子は語り継がれます。
当時は本当に小さな職場でしたが、あの時代があったからこそ今の東海・ビルドがあるのです。
改めて思う、【初心忘るべからず】と・・・

平成15年9月

平成17年10月

第二展示場 四季彩HOW住シリーズ[風夏] OPEN

[春瑠]に続く第二住宅展示場[風夏]には、当社の象徴である混構造を採用。お披露目会には多くの方々にお越し頂きました。



before



after



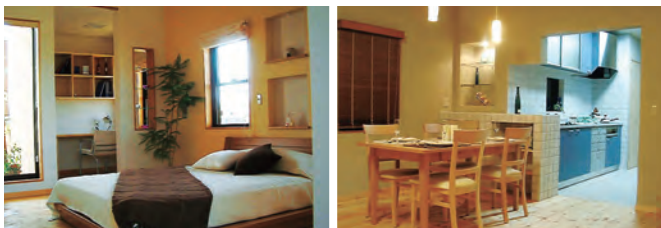
デザイン工房 Re.ビルド 開設

ビルドの目指しているリノベーションは建物の「再生」です。それは単なる材料や設備を取り替えるだけのリフォームではなく、その場所で過ごしてきた人たちの時間や思いを生かしつつ、今まで以上に価値のある空間をつくる・・・それこそが我々の目指しているリノベーションなのです。

平成13年8月

住宅展示場 四季彩HOW住シリーズ[春瑠] OPEN

“人に優しい木の温もり”をコンセプトにした、当社初の本格的な常設住宅展示場[春瑠]を本社横に開設しました。



平成15年3月



デザイナーズ賃貸マンション [デ・シータ]シリーズ 発売

現在でも進化し続ける当社の主力商品です。【あらゆる角度から建築を考えよう】をテーマに、角度を表す θ (シータ)を名称に組み込みました。



平成19年9月

緑営業所 開設

名東区に本社を構えていますが、第二の故郷と言っても過言ではない緑区に新たに活動拠点を設けました。緑区のお客様を中心に、打合せの場として大活躍。

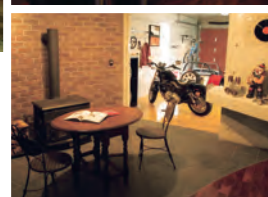
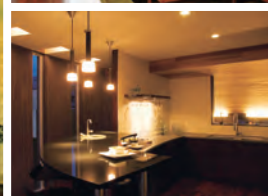


平成21年11月



コンセプトハウス [憧憬舎1970] OPEN

一棟に様々な感性を詰め込み、各々の空間を繋いで構成された、他にはない住宅展示場[憧憬舎1970]。『本当にお客様の望む家づくりの手助けができる展示場を造りたい』との想いから誕生しました。



まじめであり続けたい……

その志を貫き、お客様の【夢の実現】に全力を捧げて歩んできた20年。
まだまだ立ち止まらない、ビルドの挑戦は終わらない。

平成22年3月

テラスハウス賃貸住宅[風遊館]シリーズ 発売

現在も緑区徳重にて存在感を漂わせている、新しい賃貸住宅の提案です。スキップフロアの採用による上下に広がる空間の面白さを表現しました。



平成23年1月



戸建分譲コンクリート打放し住宅 [RC-box] シリーズ 発売

“こんな建売住宅、見たこと無い”と言っていたために、培ったノウハウを駆使し満を持して発売。

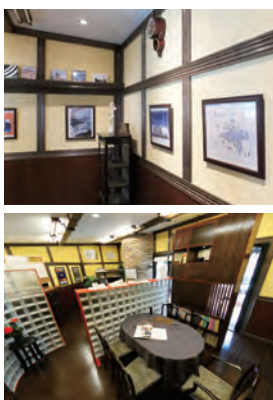
建築に対する当社の思い・こだわりが詰まった、東海・ビルドの代名詞であるコンクリート打放しの住宅です。



平成26年4月

アーキビルド設計工房 開設

新築住宅・リフォームをリードする拠点として、緑営業所を完全リフォーム。建物のコンセプトは「夢実現」。多種多様な皆様の夢を実現するためにアーキビルド設計工房は開設されました。



平成27年4月



戸建分譲住宅[好日居] 発売

RC-boxに続いての分譲プロジェクト第二弾。

傾斜地を利用した木造スキップフロア住宅への挑戦でした。

その時に持てる技術を全て投入して造り上げ、家族が「日々是好日」の生活を手に入れて欲しいという願いから、[好日居]と名付けました。

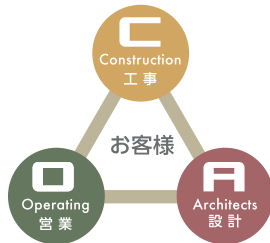


平成23年4月

平成25年6月

TEAM-C.O.A 発足

「TEAM-C.O.A」は、メーカーの効率を優先した建物づくりに疑問を抱き、東海・ビルドが立ち上げた独自の建築一貫体制です。工事・営業・設計の3部署が企画から設計施工まで全工程に関わり、それぞれの知識や技術を融合し、お客様の“想い”をかたちにします。



【憧舎 離宮】 OPEN

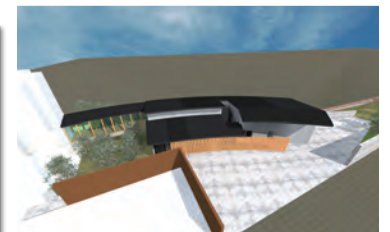
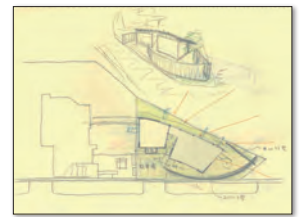
平成15年完成の住宅展示場「風夏」の大改装プロジェクトにより誕生した新展示場。増改築の域を脱し、既存の建物に全く新しいものをどだけ埋め込めるか、東海・ビルドの総力を挙げての挑戦でした。

平成28年7月

平成28年12月予定

アトリエ増築プロジェクト

「らしさ」を形にすることがテーマ。主婦が自分の空間を持ち、その場所は「自分らしさ」を心行くまで味わうところ。杉板型枠コンクリート打放しに飛騨の古民家の古材梁。こうして包まれた空間が離れとして増築されました。



K邸プロジェクト

設立20周年を見据えて掲げた新たなスローガン「品格ある技術力を追求し続ける会社」であるために、そしてこれからの東海・ビルドを象徴するプロジェクトとして始動。

当社の持てる技術を結集し、施主様とともに創り上げる住宅。

20周年の記念碑とすべく着工しました。

12月完成予定。Bi-co2017年新年号でご紹介いたします。

高山町屋 惣四郎

思い ～惣四郎竣工に寄せて～

飛騨で生まれ、都会へのあこがれから18歳で故郷を後にして40年が過ぎました。建築の仕事に携わらせて頂く中で、今まで感じなかった飛騨の伝統建築に対する思い、そしていつか故郷に戻り、社員やお客様など日々お世話になっている方々に飛騨の素晴らしい自然、文化、人情に触れて頂きたいという思いが強くなっていました。

そんな折、この惣四郎(私の父の名)を創る機会に出会うことができました。

もし思いがかなうなら、ただただ優しく父と黙ってこの庭を眺めながら酒を酌み交わすことができたらと思います。

竣工にあたり、私たちの惣四郎への思い(飛騨の伝統建築とモダニズム建築の融合)を成し遂げて下さった飛騨の匠の方々や関係各位の皆様にご心より感謝致します。

代表取締役 大上 功





飛騨高山で一軒の古民家を自社で所有し、改修する。

【目的】

- 一、本物の古民家改修を高山の各業者の手で行うことで、その技術を東海・ビルドに蓄積し、今後の古民家改修の礎とする。
- 二、高山を中心とした建築のみならず多種多様な業種の方々と関係を作り、名古屋での建築にこの関係を活用していく。
- 三、上記に付随して飛騨の材料(新品、古材などあらゆるもの)を直接名古屋に仕入れるルートを作る。
- 四、出来上がった暁には東海・ビルドの保養所として社員やお客様にどんどん使って頂く。
- 五、地元高山の若きアーティストなどの発表の場としてギャラリー使用も可能として地域貢献を行う。

飛驒の“技”と“心意気”



高山の伝統建築とモダニズム建築の融合を顕著に表す空間。

中央左壁には京都、祇園の和ガラス(作:横田満康氏)を鉄打ち出し錆加工の金物(作:高山 田中鉄工所)で固定した。

その右の扉は蔵の古扉。杉板型枠を使用したコンクリート打ち放し壁にコラボレーション。



広間から縁側、庭を通して高山城から江戸時代に移設された石垣を望む。

この眺めを縁側から見るのがこの建築の設計の核になった。



洞床の内壁。ひび割れた壁土が反り返り、やがて落ちる。その下には土壁が現れる。この仕事をボード下地に数ミリの塗り厚で塗り上げるのが飛驒の匠。



壁のくぼみにLED照明を仕込んで土壁の上から美濃和紙を貼る。光廊下と呼んでいる。



竣工後、集合したチーム惣四郎の面々。難しい仕事をやり遂げた顔はなぜか同じような表情を見せる。

惣四郎雑記

デザインの選択肢は無数にある。当初は京都の祇園をイメージした現代数寄屋と高山の古民家を融合させようと試みた。

図面を描き、現場で職人たちと打ち合わせをする中で徐々に「この融合は違う。」と違和感を感じ始める。

いわゆる「おしゃれ」で洗練された空間を高山に持ち込んで、それがどうだというのだ？

高山の良さを祇園が侵食するだけではないか？

素朴でひたむきな飛驒の職人たちの技と心意気をそんなことに浪費してはいけない。

東海・ビルドが名古屋で目指しているモダンイズム建築を素直に高山の建築文化にぶつけてみよう。

といった流れがこの建築をつくる間におきた。

終わってみて上の写真を撮影するときに職人たちと惣四郎で酒を酌み交わした。

その折に「こんな仕事は高山でも長いことやったことがない。

後進の職人もこういう機会がないから育たない。」といった高山の職人情を耳にした。

「惣四郎を職人さんの勉強会や技術伝承の場に使ってください。」

惣四郎の役目がまた増えてしまった。



株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(4)第18792号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店

〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

☎052-772-9100 (代)

<http://www.tokai-build.com>

E-mail eigyo@tokai-build.com

blog tokai-build.blog.ocn.ne.jp

東海・ビルド | 検索

高山方面へのお出かけやご旅行をお考えの際にご利用いただければ幸いです。
事前に株式会社東海・ビルド本社までご連絡をいただければ対応をご相談させていただきます。
高山の中心部に位置する高山町屋「惣四郎」にぜひお越しください。



www.tokai-build.com